

令和7年度第2回恵庭市社会福祉審議会・児童福祉専門部会
会議録（概要）

1. 日時 令和7年12月11日（木）13時30分～14時15分

2. 場所：恵庭市民会館 2階 大会議室

3. 出席者

【委員】美馬委員・高橋委員・水永委員・渡邊委員・相馬委員・田澤委員・寺田委員・秋元委員・佐藤委員

（欠席 大久保委員、斉藤委員、柴谷委員）

【事務局】内山子ども未来部長・大島子ども未来部次長・村仲子ども政策課長・高橋えにわっこ応援センター長・前野幼児保育課長・吉川子ども発達支援センター長・五十嵐すみれ保育園長・木下子ども政策課主査・桑原えにわっこ応援センター主査・庄司えにわっこ応援センター主査・向井幼児保育課主査・谷口幼児保育課主査・葛岡子ども発達支援センター主査・菅原子ども政策課主任主事

4. 内容

（1）開会

（2）部会長挨拶

（3）議事

①保育提供体制の確保のための実施計画について

（幼児保育課より説明）

【質疑応答】

Q 別紙2の（1）②「財政支援」について、「C 保育士宿舍借り上げ支援事業」以外は、恵庭市は当てはまらないということか。

A 令和8年度以降、予算化を予定しているものについては、「C 保育士宿舍借り上げ支援事業」のみである。

意見 今後、施設整備や老朽化が進む建物も多くあることから、国の基準に当てはまらないものについても検討いただきたい。

また、一時預かり事業について、幼稚園でも共働き世帯が増え、一時預かりを利用する家庭が増えている。幼稚園に関しても一時預かり事業の補助や、こども誰でも通園制度も現状の利用時間では足りない部分があると感じるため、一時預かり事業の一般型幼稚園タイプについても検討願う。

Q 保育士宿舍借り上げ支援事業の詳細、現状や今後について伺いたい。

A 令和4年度から取り組んでいる補助事業であり、保育所等の施設の事業者が保育士のための宿舍を借り上げる費用の一部を支援することで、保育士が働きやすい環境を整備する事業。各自治体で上限額が定められており、その内の4分の3を補助するというものである。

令和6年度の実績では12園が利用し、25名の保育士の宿舍について補助している。今年度についても、引き続き同じような方々が対象となるよう予算付けしているところであり、来年度についても継続的に利用できるよう検討している。

Q 別紙2の（4）-1の保育人材に関して、「①保育士の養成・資格取得支援」については、今後何か考えているのか。恵庭市の高校生を含め、在住の子たち

が保育士を目指すような支援を考えていただけるとありがたい。

- A 高校生やこれからの方々に向けた保育士の魅力発信や、資格取得部分の重要性については認識している。ご意見や現場の声を踏まえ、検討していきたい。

意見 保育現場に保育補助で入っている方が資格を取りたいとなった場合、現在は各園で支援しているかと思うが、恵庭市としての支援を打ち出してもらえると市内在住者で保育士になりたいという方も増えてくるのではないかと思う。

Q 保育士等人材バンクから就職につながった実績について伺いたい。

- A 保育士等人材バンクは、保育士資格のない方も含めて保育園で働きたい方が広く登録できるよう、令和6年度に見直したところである。

今年度については、登録6件のうち5件は各園に採用が決まった。保育士の資格を持っている方が採用されやすい傾向ではあるが、残りの1件についても各園から問い合わせをいただいている。

(4) 報告

- ①病児・病後児保育事業の公募結果について
(幼児保育課より説明)

【質疑応答】 なし。

- ②こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)について
(幼児保育課より説明)

【質疑応答】 なし。

- ③児童福祉法改正について(令和7年10月1日施行分)
(子ども政策課より説明)

【質疑応答】 なし。

(5) その他

▽事務連絡

- ・次回の部会は令和8年2月頃開催予定。

以 上